



限りある資源と美しい自然を大切に

MODEL VR-6512

リュプケ式反発弾性試験機

LUPKE REBOUND RESILIENCE TESTER

概 要

加硫ゴムに衝撃的に変形を与え、その変形から回復する際に最初に与えられた衝撃力（エネルギー）の何パーセントを外部に放出するかを測定し、試料の反発弾性係数を求めます。

本機は、JIS K 6255（反発弾性試験方法）に規定されている2つの反発弾性試験法のうち、従来から最も多く使用されているリュプケ式と呼ばれる装置で、4本の吊糸で水平に保たれた鉄棒を、落下高さ100mmの所から半径2000mmの円周に沿って自然落下させて円柱状の試料に衝撃を与え、鉄棒の反発高さを読み取り反発弾性を測定します。



MODEL VR-6512



株式会社 上島製作所

UESHIMA SEISAKUSHO CO., LTD

特 長

- 打撃の際の共振を防ぐ為に十分な堅牢性、重量を持っています。
- 鉄棒を正確に落下させる為に、マグネットにより初期高さを保持しています。
- 反発弾性係数は温度による影響を強く受けるため、試料周辺をヒーターで温度調節することができます。
(オプション)
- 本体に水準器が付属し、機器の水平を常に確認できます。

仕 様

| MODEL | VR-6512 |
|----------|---|
| 準拠規格 | JIS K 6255-1996 |
| 落下鉄棒 | 直径 12.50±0.05mm 長さ約 356mm 重量 0.35±0.01kg |
| 鉄棒懸垂高さ | 2000mm |
| 鉄棒落下高さ | 100mm |
| 試験片形状 | 厚さ 12.5±0.5mm 直径 29.0±0.5mm の円柱形 |
| 試験片の支持 | 35±5N のバネによる機械的固定 |
| 試料支持台温度 | ヒーターにより 40℃～120℃の間で温度調整可能 (オプション) |
| 反発弾性値読取り | 反発弾性値の直読目盛りを目視 |
| 所要電源 | AC100V 1A 50/60Hz (オプション AC220V(ダウントランス付)) |
| 外形寸法 | 幅 1252×奥行 400(上部支柱は 920)×高さ 2638mm |

UESHIMA SEISAKUSHO CO., LTD.

株式会社 上島製作所

本社・工場 ● 〒186-0011 東京都国立市谷保 6-5-22
TEL. 042-572-1397 FAX. 042-573-1520
E-mail: sales@ueshima-seisakusho.com
大阪営業所 ● 〒540-0038 大阪市中央区内淡路町 1-3-14
(橋本ビル 402)
TEL. 06-6942-1631 FAX. 06-6942-9702

<http://www.ueshima-seisakusho.com>

■UESHIMA 製品に関するご意見、ご質問、見積等のご請求、お問い合わせ